

発行
平成31年
1月28日
第83号



発行者
長野県下伊那農業高校
同窓会
TEL(22)5550
FAX(53)0339
編集・発行
同窓会幹事会
印刷 龍共印刷

母校百年の歴史と 未来を見つめて



同窓会長 関島 伸喜 (高13回卒)

大正九年に下伊那郡立農学校として誕生してから、二〇二〇年には百年という歴史を積み上げる事になります。当時飯伊地域の世帯の七〇％は農家であり、水田と養蚕業で潤い、商工業も関連産業が多く、まさに養蚕王国であり専門の農学校の設立は地域の熱望するところでした。それから幾星霜、戦争と敗戦、貧困から高度成長、貿易の自由化三ちゃん農業と農業不要論IT革命、人口減少と、目まぐるしく時代は動き今日を迎えています。

しかし一貫して変わらないうのは、「食」無くして人の命は維持出来ない事です。農地が無くて工場生産で農産物は作れるという時代も到来しておりますが、それでも種を播き、水をやり、餌をやり、光を当てて育てなければならぬ。その循環が無くしては永遠の命の継続は不可能なのです。

下農の教育姿勢は創立以来一貫してその基本理念を貫いて来ました。きつい農作業、低所得、農業軽蔑の時代から一転して、農業に脚光が注がれる新時代に入ってきています。最も革新が遅れていた一次産業分野に、

下農生の活躍と 今後の高校改革



学校長 村澤 博富美

最先端技術が生かされる可能性が大きく認識されて参りました。自然を分析データ化し、自然と共存しながら食物生産を計る新時代への農業教育の先導をはたして行かなければなりません。わが母校下農は、百年の歴史を踏まえて迎える新たな時代も地域と共に進化する農業高校でありたいと願うものです。

さて来年十月予定の百周年記念式典に向けて、また

日頃から同窓会の皆様方には、母校の発展のためにご支援とご協力を賜りますとともに、関島同窓会長様を執行委員長とする創立百周年記念事業につきましては、趣旨に賛同しご寄付いただきましたことに厚く御礼申し上げます。私は本年度嶋崎前校長の後任として赴任いたしました村澤と申します。二十一年ぶりの二度目の勤務ですが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ところで、本年度の下農生の活躍には目を見張るものがありました。学校農業クラブ全国大会への二部門ダブル出場、国立四年制大学農学部への四名合格は、近年稀な素晴らしい成果です。また、毎年恒例の高校生レストランや園児親子との食育交流、自校産小麦を原料としたコッペパンの商品販売など、地域連携学習も益々充実し、頻りに地元紙に掲載されることも多く、下農ならではの実践教育が着実に実を結んでいます。さらに稲丘祭には、約三千人が来校し、農産物の購入や展示物の見学などを楽しん

記念事業の遂行に向けて、実行委員の多くの方々により、着々と準備が進んでおります事を報告させて頂きます。また「下農の将来を考える会」も設置しており、同窓の皆様からの建設的な御意見をお寄せ願いたいと思います。同窓会事業に引き続きご理解ご協力をお願いし、ご挨拶と致します。

いただいたことは、地域に愛され地域に根差した学校である証です。

話題は変わりますが、昨年九月に県教育委員会から「高校改革」夢に挑戦する学びの実施方針」が公表されました。「新たな学びの推進」では、「探究的な学び」の普及や各校の学びを体系的に示す「三つの方針」の策定及びモデル校等による多様な学びの整備充実について示されています。飯田下伊那地域の旧第九通学区の「再編・整備計画」では、中学校卒業生数が二〇三〇年には二〇一七年の七一％まで減少する見込みとされています。現状では都市部存立普通校、都市部存立専門校、中山間地存立校が配置されており、現段階では概ね適正な規模を有しているものの、この地区の学校規模の縮小を見据えた地域



全体の高校の将来像について検討を進め、地域の合意形成を図っていく必要があるとの現状分析と方向が示されています。今後は「高校の将来像を考える地域の協議会」が全地区で設置され、意見や提言をいただきながら地域の「再編・整備計画」を策定していく予定となっております。校内議論だけでなく、同窓会・PTAの皆様方も、本校の将来像について話し合いを重ねていきたいと考えております。

末筆ではございますが、同窓会の益々のご発展をご祈念申し上げますと共に、創立百周年の節目に向けて、微力ながら努力して参りたいと存じますので、引き続き母校へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

長野県「ふるさと信州寄付金」制度 ご存知ですか

標記の件につき、お繋ぎ致します。

「ふるさと納税制度」については、ご承知のことと思います。長野県や各自治体に対し、個人的に寄付金を送り、ふるさと振興に協力するといふものです。金額は自由で制限はなく、故郷や母校、自治体に寄付出来る制度で、強制されずに納税出来るとして高く評価され人気があります。所得税や住民税の控除が受けられ、県外からの寄付に対しては、特産品が返礼として贈られます。

利用していただきました。

創立以来地域と共に歩んで来た母校の教育環境の整備充実は一層重要性を増して来ております。

人口減少が進む中学校教育も厳しさを増すばかりです。統廃合や縮小の渦の中、農業の大切さを再確認し、

同窓生諸君今こそ立ち上がろう

仲田 征一 (高9回卒) (岡谷在住)

卒業から六十年、世の中は目を見張る大変革を遂げて来ました。リニア新幹線開通まで十年を切り新たな展開が始まる。

今農業は開びやく以来の大改革を迫られている。即ち全国の農業関連団体や農業高校も同じ環境にあると思う。改正された農業法では『農業所得の増大に最大限の努力をする』と明記されているとか。新農業時代に向けて『改革は今』を実感せずにはいられない。

こうした変革の時だからこそ士農工商の復活を目指そうではないか。これは単に『農業の繁栄』を指すのでは無い農業人として人間性・人格の裏付けがなければならぬ。先ず自身が真剣に農業に取り組み、農業

地域おこしのリーダーとして活躍する人材を、母校下農から輩出したいと考えます。先ずは同窓生自身が範を示し、現役生徒や地域住民一体で地域おこしの機運を盛り上げて行きたいとの観点から提案し、ご協力要請する処であります。

尚この寄付行為は同窓会百周年記念寄付とは違いますが、お間違えなきようお願い致します。(同窓会)

高校教育について具体的には、実践教育に比重を置き即戦力になる卒業生を送り出す事かと思う。人それぞれが持つ得意な分野、好きな分野を思う存分伸ばせる環境を整えてあげたい。実社会に出る者、進学する者、誰もがインターンシップ等で実力をつけ地域の各分野でリーダーとして活躍する人材を育てたい。学校、地域、同窓会が一体となって次世代の若者を育てなければならぬ。

在校生、同窓生、U・Iターンはもとより地域おこし協力隊など、あらゆる機会あらゆる場面が農業人口の増加につながるよう努めようではないか。

稲穂会マレットゴルフ大会

稲穂会会長 小島 かつる (高17回卒)

天候に恵まれた今年も、前回と同じ四十名の参加をいただき、第十三回マレットゴルフ大会が、松川清流苑にて開催されました。顔ぶれもお馴染みで、再会を喜びながら始まる前から和気あいあい。ステイックやボールを選ぶ手つきも馴れたもの。開会式では、前回優勝された二十一回卒柴田千恵子さんのトロフィー返還や、競技説明と組みあわ

せ発表後、昨年とは違うコースで一年ぶりの腕だめしが始まりました。心地良いさわやかな風の中で暑さも忘れ、時々飛びかう小虫を追い払いながら、思うように転がってくれないボールに何度も坂を往復してカップにボールが入った時は「何回で入った?」。下り坂のホールでは力加減をあやまり打ったボールを捜すのに苦勞したり。一年に一度のマレットゴルフってこんなハブニング続きでした。約二時間に及ぶゲームも終わり、いつもの和室でお忙しい中駆けつけて下さった関島同窓会長さんも交えて昼食をいただき、その後は気になる成績発表。今年第十七回卒の松重みゆきさんが優



勝されました。生徒さんが実習で栽培された野菜や加工品を参加賞としていただき、来年の再会を約束しながらそれぞれ散会となりました。内容が前後しますが二月は「講演」を行事として、稲丘会館に約三十名の会員の参加をいただき、第十二回卒の堀口美鈴さんを講師にお招きして、永年活動された赤十字奉仕団の委員長という立場から感じられた人生観等の講和や紙芝居の上演等、とても有意義な内容のお話を聞かせていただきました。現在の活動としては、創立百周年記念行事に向けた余興(ベル・歌)の練習を月一回稲丘会館で行っていますが、これからでも間に合います。参加していただける方をお持ちしておりますので、是非御連絡下さい。





第27回同窓会 親善ゴルフ大会を終えて

事務局長 林

清 志 (高26回卒)

去る六月二十六日に第二十七回同窓会親善ゴルフ大会が高森カントリーで開催されました。

下農同窓会親善ゴルフ大会成績

支会対抗の部

優勝	神稲・河野支会
準優勝	上郷支会
3位	大島・生田・ 上片桐支会
4位	松尾支会
5位	竜丘支会



個人の部 (敬称略)

優勝	寺沢 和嘉	下久堅支会
準優勝	壬生 一昭	神稲支会
3位	田戸孝太郎	神稲支会
4位	日置 善隆	上郷支会
5位	伊東 敏明	三穂支会
6位	小木曾貴幸	松尾支会
7位	佐々木 博	山本支会
8位	下平 吾郎	竜丘支会
9位	宮田 修	東京支会
10位	水野 忠人	大島支会

当日は天候に恵まれる中、六時から開会式を行い四十五分から順次スタートで大会が始まりました。東京方面からの参加もあり参加者総数二百二十二名でした。この大会は、親睦、世代を超えた相互の交流、支部の団結が図られる下農同窓会事業の中でも大切なものです。その趣旨で競技は個人戦はもとより支部対抗も併せて行っていますので、熱の入ったプレイが多く見られました。



関島同窓会長より「盛大な大会になった」との挨拶、横前実行委員長の参加頂いた皆様にお礼があり、和やかな雰囲気の中順位発表が行われ「一喜一憂」する場面もありました。表彰式には毎回学校長も駆け付けお祝いの言葉をいただきました。今後とも同窓会親善ゴルフが未永く続きます様関係者の皆様のご協力をお願いします。



神稲支会の活動状況について

支会長 中園 紘 (高15回卒)



の親善ゴルフ大会にも積極的に参加しています。又女性部も本部稲穂会へ参加をしています。活動状況はこんなところですよ。この二年程の神稲支会の総会で話題になることは下伊那農業高

東京支会『関東稲丘会』の活動

関東稲丘会会長 福澤 省三 (高21回卒)

『関東稲丘会』(東京支会)は、昭和二十八年創立時の『東京稲丘会』の名称を、

平成二十八年より関東一円が対象として広めて行く趣旨で変更しました。昭和

校創立百周年記念事業のことが主で他の支会の募金状況はどの程度進んでいるのか、学習施設建設はどのような物が建たれるのか、それぞれ話題になります。二〇二〇年に開催されました下伊那農業高校創立百周年記念事業が盛会に行われますことを願って報告とします。

代と共に高度経済成長期の激動の真つた中を経験し、高速道路で気軽に帰郷できるようになると、同郷同士の特別な意識は薄れてきたように思えます。また高齢化と少子化、新卒生が関東を生活圏としなくなる等、昨今の総会に参加して頂ける同窓生はめっきり減ってしまいました。その様な状況ですが元気で愉快な役員たちが母校応援の為、はたまた関東地区の同窓生たちの連絡網や、全長野県の高校同窓連に校名と活躍を知らしめるなどの為に『関東稲丘会』を盛り立てております。

総会、親睦旅行や忘・新年会等があり、役員中心に参加して他校同窓会の皆さまと情報交換など親しくさせて頂いていただいております。全国でも、高校の同窓会をこんなにも熱心に活動しているのは珍しく、長野県だけではないでしょうか。県歌「信濃の国」を皆で歌えば一体感が会場を包みます。時代と共に人間関係が薄れていくこの時代に長野県人として何よりも誇らしく思えます。これからも長野県高校同窓連でも『関東稲丘会』は下伊那農業高校卒業生として恥じない活動をしていきたいと思っております。

もお役に立てますよう微力ながら頑張つて行きます。最後になりましたが、下伊那農業高等学校が百周年を期に、新たな歩み、なお一層の発展を祈念してお祝いの言葉とさせて頂いていただきます。



三、四十年頃の総会には都内ホテル宴会場に二百名余が集い芸達者な同窓生達により盛況な総会となり、閉会してからも二次会、三次会さらには先輩宅までお邪魔していたくらいでした。その頃は東京圏に其々の覚悟を秘め就職し、気軽には里帰り出来ない環境でしたから同窓生同士のつながりは心強く先輩方は後輩達を気にかけて下さいました。しかし時

『関東稲丘会』の主な活動は、第一には会員皆様から年会費を納めて頂き総会の開催。総会には沢山の方向が参加して頂けるように案内状などの準備や当日のゲーム、演芸など余興を計画します。多くの方が参加して頂ければ、初めての方同士でも同郷のよしみで自然に楽しい会になります。また二年回の親睦ゴルフ会を神奈川県、長野県、東京都の三校『長野県高等学校同窓会東京連合会』と『南信同窓連(諏訪から南地区)』でも親睦ゴルフ会があり積極的に参加して良い成績を果たすなど、母校の名を知らしめて

事務局が把握しております支会活動状況をお知らせします。本年度は創立百周年記念事業に関する議題が大きく取りあげられるとともに、より多くの会員が参加できるよう諸行事を取り入れるなど工夫をこらさず支会も多くなりました。

市役所支会 三月二十日
座光寺支会 四月十五日
中川支会 六月五日

平成30年度の支会総会開催状況

- 下久堅支会 六月七日
 - 東京支会 六月九日
 - 山本支会 六月十七日
 - 上郷支会 七月十六日
 - 神稲支会 七月二十二日
 - 龍江支会 九月九日
 - 喬木支会 十一月二十三日
- 事務局には、支会担当の校内幹事があります。支会より要望等ありましたらお寄せください。



会務報告

同窓会幹事長 北原 千歳(高31回卒)



会員の皆様方には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

五月十九日に同窓会理事・代議員会が開催され、平成二十九年度事業・決算報告をはじめ、平成三十年度事業計画・予算案が承認され、正式に事業がスタートしました。お蔭様で順調に諸事業を終了し、まとめの時期を迎えております。

「創立百周年記念事業につきましても、内容の具体化が本年度も進められました。

第四回実行委員会が十一月二十八日に開催され、総務部・記念誌部・資金部・事業部・母校の将来を語る会の全ての部門より現在の進捗状況が報告され議事が承認されました。

中国蘇州農業職業技術学院の皆様を招待したスムーズな式典について確認されました。また記念講演会講師の選定に関して現在の状況と今後の進め方について報告がありました。

実行委員会に先だち、各部会・小委員会等の会議が開かれ、百周年記念事業に向けての企画等進められております。とりわけ、遠山善治元校長先生を編纂委員長とする記念誌編纂委員会は、毎月稲丘会館にて複数回会議がもたれております。百周年にふさわしい記念誌ができ上がりそうであるところ、矢澤記念誌部長より報告がありました。さらに、配布計画も示されより具体的になっております。

資金部からは、現在の募金活動の全体としての進捗状況の報告がありました。今後各支会長さん、事務局長さんと実行委員会関係者との合同会議を二月十三日に開催し、各支会の募金活動の進捗状況の最終確認をする予定でおります。

募金の進捗状況から、修正予算案が総務部総括より示され、その予算を元に事業部から、農業学習施設に関して今後の予定、今年の

七月二十二日開催の実行委員及び支会長・事務局長さんとのプロポーザル方式での農業学習施設の業者選定の方法にて投票で決定する旨説明がありました。

より一層のご支援を賜りたくよろしく願います。本校公式ホームページ内に同窓会ページを併設しております。更新がこまめにできておりませんが、この稲丘時報もデジタルデータにて公開しますので、過去のものも含めご覧いただければ幸いです。

平成29年度 決算書

平成30年 5月19日 提案 承認
平成30年 5月19日 提 承 認

1 歳入総額	2,422,008円
2 歳出総額	1,689,055円
3 差引残額	732,953円

(単位:円)

科 目	予 算 額			収入済額	比較増減	備 考
	当初予算額	流用	計			
入 会 金	1,304,000		1,304,000	1,304,000	0	8000×163名
雑 収 入	250		250	12	▲ 238	利息、CD売上げ
繰 越 金	803,996		803,996	803,996	0	
終 身 会 費	314,000		314,000	312,000	▲ 2,000	2000×156名
そ の 他	0		0	2,000	2,000	戻し入れ
合 計	2,422,246		2,422,246	2,422,008	▲ 238	

(単位:円)

科 目	予 算 額			支出済額	比較増減	備 考
	当初予算額	流用	計			
1, 事務費	420,000	0	420,000	232,319	187,681	
1) 旅費	120,000		120,000	16,100	103,900	支会総会等の旅費
2) 事務費	50,000		50,000	54,280	▲ 4,280	プリンターインク・ロール紙
3) 通信費	40,000		40,000	27,674	12,326	郵送料・電話代
4) 消耗品費	50,000		50,000	15,249	34,751	印刷用紙他
5) 負担金	10,000		10,000	0	10,000	地区同窓会負担金
6) 正副会長交際費	150,000		150,000	119,016	30,984	各種会議参加費等
2, 会議費	230,000	0	230,000	169,738	60,262	
1) 役員会費	10,000		10,000	12,544	▲ 2,544	監査会等
2) 代議員会費	160,000		160,000	124,694	35,306	代議員会
3) 幹事会費	60,000		60,000	32,500	27,500	校内幹事会会議費
3, 事業費	1,450,000	0	1,450,000	1,173,996	276,004	
1) 稲穂会費	150,000		150,000	141,195	8,805	活動費・総会費
2) 事業推進費	250,000		250,000	232,016	17,984	支会総会の参加
3) 稲丘時報発行費	350,000		350,000	295,240	54,760	稲丘時報発行費
4) 同窓会林管理費	10,000		10,000	4,118	5,882	同窓会林間伐等管理
5) 新正会員歓迎費	150,000		150,000	150,000	0	校歌等CD購入用積立て
6) 稲丘会事業寄付金	200,000		200,000	200,000	0	(財)稲丘会
7) 親善大会費	120,000		120,000	96,987	23,013	親善ゴルフ
8) 100周年費	220,000		220,000	54,440	165,560	100周年事業
4, 雑支出	216,000	0	216,000	113,002	102,998	
1) 慶弔費	110,000	0	110,000	54,014	55,986	祝儀・香典・弔電
2) 転退職職員記念品費	60,000		60,000	56,000	4,000	饗別
3) 雑費	46,000		46,000	2,988	43,012	
5, 予備費	106,246	0	106,246	0	106,246	
1) 予備費	106,246	0	106,246	0	106,246	
合 計	2,422,246	0	2,422,246	1,689,055	733,191	

平成30年度 会員の異動

同窓会員	三十三名
正会員	一五六名
準会員	一六一名
正会員数	一八七〇二名
旧制	二、四八九名
高校	一、〇二三名
内男子	一、〇二一名
女子	一九二名

運動班の活躍

柔道班 高校総体北信越大会に出場して

アグリサイバース科3年 塩 澤 千奈美



北信越大会という大きな目標に向かって活動をしてきて、最後の高体連で北信越大会に行けることができず、大会前日までには本心に自分が北信越大会に行くんだという実感がありませんでした。大会当日、会場に入ると今まで味わったことのない空気があり、少し怖さを覚えました。周りには自分よりも力が強く、技も優れている選手ばかりで不安でいっぱいになりました。でも、ここまで来ることができたのは仲間

とでなく、顧問の先生や外部コーチの指導のおかげでもあります。これから自分も誰かのために力になれるようになりたいと思います。ありがとうございました。

剣道班 北信越大会へ出場して

園芸クリエイト科3年 朝 山 珠 夢

私が北信越大会を通して思う事は、周りの人への感謝の気持ちを改めて感じた事です。一、二年生の頃は

南信大会を勝ち抜けても、県大会で二回戦止まりでした。最後の高校総体では、県大会二回戦以上勝ち上が

りたいという思いが強く、強い気持ちを持って試合に挑むことができました。県大会の一回戦目では延長の末勝つことができ、二回戦では北信越大会に出場したい思いが叶い、延長戦の末勝つことができました。三回戦目で負けてしまい、県大会では個人戦八位で北信越大会へ出場することができました。県大会で終わらず、次の大会へ繋げられたことはとても嬉しかったです。北信越大会では、良い結果を残すことはできませんでしたが、ここまでできたことは今まで指導していただいた先生方や、チームのみんな



水泳同好会 北信越大会に出場して

農業機械科2年 上 田 慶次郎

私は七月二十日に行われた水泳の北信越大会に出場しました。去年出場した四百メートル個人メドレーではなく、今回は百メートル平泳ぎに出場しましたが、県大会で予選敗退してしまい、もう一つの二百メートル平泳ぎで北信越に出ました。当日はとても気温が高く、



体のダルさが抜けない状態でのレースとなりました。体は動きましたが、自分の準備不足で、後半バテてしまい、タイムを上げることができないまま大会は終わってしまいました。ここで自分の力がまだ周りよりも劣っていると痛感しました。大会が終わってまず感じ

たことは、とにかく悔しいという気持ちです。しかしそれと同時に、来年のこの大会までに何をすれば良いのか明確にすることができようになりたいです。

陸上班 北信越大会に出場して

アグリサイバース科1年 宮 澤 香 音

私は、松本で開催された北信越大会に出場しました。高校に入ってから初めての北信越大会でした。

北信越大会に出場するために日々の練習では自分の課題としていたところを一つ一つ確認しながら練習しました。なので、目標としていた北信越大会出場が決まった時はとてもうれしかったです。

北信越大会では、松本開催だったのでほどよい緊張感で挑むことができました。

学芸班 農林家班の活躍

農業クラブ全国大会に出場して

園芸クリエイト科3年 前 垣 沙 羅

「第六十九回日本学校農業クラブ全国大会」が、十月二十三、二十四日に鹿児島県で開催されました。私達果樹班は、プロジェクト発表分野「I類」生産・流通・経営」に北信越ブロック代表として出場しました。もう

か、走幅跳でも三段跳でもなかなかうまくいかず悔しい結果となってしまいました。県外の選手とは動きが全然違って、私もまだ直す所があるなど気づかされた大会でした。そして、一緒に来てくれたマネージャーさんと先生、家族に感謝したいです。

今年目標はインターハイ出場です。これを目標に日々の練習に励みたいです。そして大会では悔しい結果にならないように楽しく、自分の跳躍をしたいです。

一度このステージに上がり受賞する事を目標とし、より分かりやすくなるよう発表方法の改善など底上げを行ってきました。大会当日、活動記録簿はすべて素晴らしい出来栄で、さすが全国レベルだなと実感すると



ともに、昨年の情景が思い浮かび懐かしさもありました。順番が近づくにつれ不安と緊張が大きくなり発表ができるか心配でした。いざステージに立ってみると「本当にもう一度、出場できた。」と嬉しさが込みあげ自然と笑顔になり、全力で発表をすることができました。結果は、昨年と同じく入賞できず。正直とても悔しかったです。でも、後悔はななく、それだけで満足でした。あんなに多くの人の前で



三年間の取り組み

園芸クリエイト科3年 矢崎 文哉

私達アグリ研究班畜産班は、鹿児島県大会に初出場をしました。私達の研究は、長野県のブランド地鶏である信州黄金シャモについての研究です。この研究を行う事ができたと思えました。私達の考察したシャモハムをイベントで出品した時、「おい

発表は滅多にないことで、とてもいい経験だったなと思います。最後に、イベントに参加して多くの方々との出会い、色々な経験をしてみても充実した活動になったなと感じています。沢山の方々に応援して頂き支えて頂いてここまで来ることができました。心から「ありがとう」と伝えたいです。後輩には引き続き活動に励み、私達が達成できなかった目標に向かって頑張っていってほしいです。

おいしいね」と多くの声を聞く事ができて、信州黄金シャモがこの地域に根付いているという事を実感する事ができました。この全国大会に出場して、多くの学校の発表を聞き、私達の研究はもっとよりよい物になっていくのではないかと思います。信州黄金シャモを多くの方に知って

農業クラブ全国大会 農業鑑定競技優秀賞

食品化学科3年 片桐 杏奈

私は三年生で初めて本気で全国大会を目指しました。全国大会には校内で行われる農業鑑定で学科で一番点数をとらなければならずさらに食品化学科は一人しか出場できないので朝や放課後、お昼の時間などを使い勉強をしました。

二度目の農鑑を経て校内で全国大会出場者として選ばれた後、先生からわたされた全国大会の問題の範囲を見て私はその範囲の広さにとっても驚きました。出題範囲には私が今まで勉強してきた食品についてだけでなく園芸や畜産、木の名前など普段勉強してないこともあり他学科の友達に教科書を借りたり先生に教えていただいたりしながら

いた、たく為には、これからの活動を引き継いでいく後輩の力が必要となってきました。苦しくなる時も多くあると思うが、活動をよりよい物にしてもらいたいと思います。私達がここまで成長する事に

ができたのは、支えてきてくれた先生、地域の方々だと思います。感謝の気持ちを持ってこれからも生活していきたいです。信州黄金シャモが、南信州に普及する事を願っています。

大会当日は正直緊張しすぎてほとんど覚えていませんが式典終了後先生に「おめでとう」と言われ優秀賞だと教えてもらった瞬間は鮮明に覚えています。進路につながるよい結果を出すことができがんばって本当によかったと思っています。他にも「畜産の部」でアグリサービスク三年小原琉菜「生活科学部門」二年吉田遥花、「園芸部門」で園芸クリエイト科二年森本隆暉が受賞しました。

今回の全国産業教育フェアの大会へ下農として四年連続出場する事ができて嬉しく思う。しかし、個人としては、今回の大会は難しい問題に直面した。練習の段階から私は、私が綺麗と感じる作品を製作していたが大会で入賞した作品は私の作品と対照的であり、基礎である私がやってきていた最低限のレベルは評価されなかった。悔しかった。自信が無くなった。多くの人が出場すればそれだけ多くの感性が表現されることになる。自分の作風を変えた方が良

農業クラブ北信越大会 意見発表に出場して

アグリサービスク3年 中根 裕輝

県大会で最優秀賞を獲得して臨んだ北信越大会。県大会とは違う緊張感で、会

場の空気に飲み込まれてしまいうさびた。ですが、出場に至るまでにはたくさん

全国産業教育フェア山口大会に出場して

園芸クリエイト科3年 井坪 学斗

の人に応援され、支えてもらっていたので、負けられないという気持ちが自分を鼓舞させました。本番前日のリハサルでは、他県の代表者の発表を聞きました。全文ではないものの、気合と本気を感じました。前日の練習では、緊張とプレッシャーで思い通りの発表が出来ず焦りまわした。なので、いつも通りに落ち着いて発表することを目標に本番に臨みました。本番では目標通り落ち着いて発表することができました。他の発表者の発表を聞いているうちに「こんな考え方があったのか」とすごい聞きやすいしやべり方だな」と、自

然と意見発表会を楽しんでいる私がいまいました。本当の意味で意見発表会の楽しさ、素晴らしさを知ることができた気がします。結果は優秀賞で全国大会へは出場できませんでした。とても悔しかったです。ですが、私はこの意見発表会で貴重な体験をすることができました。途中、出場を辞退することも考えていたので、諦めないで挑戦することの大切さを感じました。そして、たくさんの方に支えられたのも事実です。クラスみんなや先生方に感謝をしています。本当にありがとうございました。

今回の全国産業教育フェアの大会へ下農として四年連続出場する事ができて嬉しく思う。しかし、個人としては、今回の大会は難しい問題に直面した。練習の段階から私は、私が綺麗と感じる作品を製作していたが大会で入賞した作品は私の作品と対照的であり、基礎である私がやってきていた最低限のレベルは評価されなかった。悔しかった。自信が無くなった。多くの人が出場すればそれだけ多くの感性が表現されることになる。自分の作風を変えた方が良



平成29年度卒業生(平成30年3月卒業)の進路状況

H30.3.31現在

卒業生数		合計		アグリサービス	農業機械	園芸クリエイト	食品化学	
男子	女子	人数	比率	計				
71人	85人	156		156	39	39	41	37
合計	156人							
就職者		管内		計	39	39	41	37
		管内	55	35.3%	71	9	39	17
男子 39人 女子 31人 小計 70人		県内		男女	3	0	6	3
		県外	3	1.9%	24	4	0	7
比率 44.9%		公務員		男女	0	0	0	0
		自営	2	1.3%	3	0	2	1
進学者		四年制大学		男女	0	0	0	0
		短期大学	6	3.8%	0	0	0	0
男子 32人 女子 54人 小計 86人		大学校		男女	4	1	2	1
		専門	48	30.8%	2	2	0	0
比率 55.1%		未定		男女	18	3	10	4
			0	0.0%	30	9	0	10
				男女	0	0	0	0
				男女	0	0	0	0

進路状況

平成29年度(平成30年3月卒業)卒業生の進路状況

進路指導部長 中島 かおる

全国的に「売り手市場」と呼ばれる中、昨年度、飯田下伊那管内の新規高卒者の求人数(一次分)は、一昨年度より約百人増加(六年前の二・五倍)となりました。しかしながら、職種別に見るとかなり偏りがあり、製造・サービス・販売・建設・輸送等の分野では求人が求職を

大きく上回る一方、事務系は求人が少なく、必ずしも希望する分野に就職できるとは限りません。さて、そのような状況の中で、昨年度の本校就職希望者(七十名)については、飯田市役所(二名)・地元役場(二名)・長野県高校実習教員(一名)を含

む六名が公務員となり、合わせて自営業(農業後継者も含む)に就く者が例年より多くみられた点が特徴的でした。

また、民間就職については、地元の製造業を中心として、一次試験でほとんどの生徒が内定をいただくことができました。生徒自身の努力の賜であると同時に、特に地元企業においては、これまで同窓生の皆様が築き上

げてくださった「下農ブランド」が、地元根付いているおかげと感謝しております。

次に進学についてですが、その多くが推薦入試またはAO入試を利用し、実に様々な分野に進んでおります。特に、大学(国立大農学部一名、私大四名)・農業大学校(三色)を含めた「農業分野」や、「食物栄養・保育分野」、「自動車・機械分野」

「調理分野」といった本校学科関連の学びをより追究する分野への進学が六割となっております。また、医療系への進学が増加しておりますが、大学進学者を含め、入試対策だけでなく、入学後も必要な学力向上が求められます。

課題はいろいろありますが、今後も、基礎学力の向上ももちろんのこと、農業高校ならではの実習や探究的学習、地域での交流等、様々な経験を通して地域や社会に貢献できる人材の育成に力を注ぎたいと思います。

進学 四年制大学(10名)

宇都宮(農学)、愛知学院(文学)、東海学園(健康栄養)、東京農業(生物産業)、東京造形(造形学部)、日本(生物資源科学2)、酪農学園(農食環境)、和光(現代人間/表現学部)

短期大学(22名)

飯田女子(家政学科 食物栄養5/家政学科 家政3/看護3/幼児教育3、松本大学松商(経営情報)、愛知学泉(食物栄養)、愛知文教女子(生活文化)、大垣女子(歯科衛生)、岐阜聖徳学園(幼児教育)、中日本自動車(自動車工学)、名古屋(現代教養/保育)

大学校(6名)

長野県農業大学校(総合農学2/畜産実科)、長野県福祉大学校(保育2)、南信工科短期大学校(電気制御技術)

専修学校(48名)

医療10、調理・製菓・栄養10、自動車6、ブライダル・フラワー5、電気・情報・ビジネス5、美容・エステ4、動物3、声優・音響3、エアライン1、スポーツ1、デザイン1

就職

公務員

阿南町役場、飯田市役所、泰阜村役場、長野県高校実習教員、長野県警察、海上自衛隊

民間(管内)

コパックス3、KOA七ヶ里の杜3、みなみ信州農業協同組合3、夏目光学3、JMC2、ジョイフル・テン2、コーケンフード&フレバー伊那工場2、シチズン時計マニユファクチャリング飯田殿岡工場2、小林製袋産業2、多摩川精機エレクトロニクス2、日本郵便 信越支社2、輝山会記念病院、エフプラス、

オートパルいいだ、お菓子のシアワセド、ちさと東、ナガイ、パテック、ピーエーイー、マツザワ、信濃雪、原ホンダ、野中製作所、NSKマイクロプレジジョン、TDK庄内飯田工場、エヌティーツール飯田工場、クロダ精機、旭松食品、三笠設備、信菱電機、多摩川パーツマニユファクチャリング、多摩川ロジスティックス、大和グラビア南アルプス工場、谷口醸造、中部フォレスト、中部労働技能教習センター、天恵製菓、南信州菓子工房、卑呼呼カンパニー、藤本電気商会、丸運工業、木村内装、ヤザワ工業、伊藤農園

【県内】

ENEOSウイング信越支店、長野県A・コープ、独立行政法人自動車技術総合機構

【県外】

エーシーオー、キャストパワー

編集後記

稲丘時報第八十三号ができました。多くの皆様から原稿を寄せていただきありがとうございました。改めて感謝と御礼を申し上げます。一年間の活動をまとめる関係でこの時期の発行となります。配布に関しても、関係の皆様にはお手数をお掛けしますがよろしくお願ひします。さていよいよ次号では下伊那農業高等学校創立百周年記念誌の注文方法について詳細を揚げさせていただきます。また、記念式典の内容について詳細を掲載する予定です。是非ご購入のご協力をお願いいたします。

(稲丘時報広報係)

